



### コース名

準個人レッスンコース(文法、語録、表現、会話)

### コース内容

2人制レッスンでは講師がその生徒に的確に必要な授業をするので、生徒の学習ペースは促進します。

講師は生徒がイタリア語をよりよく学べる為にそして、イタリア社会を理解する為に、生徒の要望に従って特定の授業内容(芸術、文学、音楽、映画、詩、歴史、イタリア文化・社会、ビジネス等)を選びます。

### 1週間の授業数

生徒と学校で予定を組みます。生徒は、コースの開始日と期間を選べます。

### 1グループの生徒数

同レベルの生徒2人

### 授業時間スケジュール

午前9時から午後7時の時間帯 授業毎に宿題が出ます。

課外授業への参加 あります。

### 授業料

ホームページにある料金計算をご覧ください。

### 授業方法

授業はイタリア語を外国語として教える経験に富んだプロの教師によって指導されます。各生徒は自分たちの興味や要求を追求する事が出来ます。特筆すべき事は口頭表現や特定の状況で自己を表現する言語能力と理解力を養う事です。

使用教科書はNUOVO ESPRESSOです。

コミュニケーションによる言語指導 学校で用いられている授業方法は多様で、絶えず更新され、コミュニケーションに重要性を置いています。最終目的は多様な授業内容の相互作用による、4つの言語能力の習得です。

口頭による理解力

口頭による表現力

文章を読む能力

文章を書く能力

いくつかの授業では実生活に基づいた状況を作る為にインタビューやルポ形式を使用します。

ヨーロッパ言語共通参照枠 学習コースはヨーロッパ言語検査協会(ALTA)及び欧州評議会によって定義されたヨーロッパの標準に基づいて構成されています。従って、学習コースはヨーロッパ言語共通参照枠を反映しています。それぞれは6つのレベルに分けられた、大きな3段階の言語学習コースです。

レベルA: 初級 (A1:入門、 A2:初級)

レベルB: 中級 (B1:中級、 B2:中上級)

レベルC: 上級 (C1:上級、 C2:最上級)

CEFRは学習者が各レベルで読んで、聞いて、話して、書く際に何が出来るかを記述しています。レベルの詳しい説明は、下記の各レベル別の説明をご覧ください。  
は6つのレベルに分けられた、大きな3段階の言語学習コースです。  
モニターによる分析 学校は学生の進歩をモニターして、週末の講師会議で学習過程を分析します。  
。教育方針は学生の授業理解度に基づいて評価されて、議論されます。

### ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)の6レベルの詳細:

#### A1 入門

日常的な表現と非常に基本的なフレーズを理解・使用する事が出来る。自分自身又は他人を紹介することが出来、個人の特徴や、彼/彼女の生活習慣、知っている人々、所有物などについての質問に回答出来る。ゆっくり、そして、はっきり話し、会話を補助してくれる人とコミュニケーションをする事が出来る。

#### A2 初級

日常生活に(例:個人や家族の情報、買い物において、身近な地域の情報、仕事について)関連した文と頻繁に使われる表現を理解する事が出来る。簡単な日常会話において必要な応答が出来る。単純な言葉で人物の背景や人物の説明やその場に相応しい対応が出来る。

#### B1 中級

家族間で日常的な仕事、学校、娯楽などでの身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。その言語が話されている地域を旅行中に起こりそうな、たいていの事態に対処する事が出来る。家族間や個人的な関心事について、簡単な形で結びついた文章を作る事が出来る。経験、出来事、夢、希望、願望、意見や計画の理由・説明を短く述べる事が出来る。

#### B2 中上級

自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な複雑な文章の主要内容を理解する事が出来る。ネイティブ・スピーカーとの対話がぎこちなく、ある程度の流暢さと自発性のある会話が出来。かなり広い範囲の話題について、長所や短所を示しながら、さまざまな選択肢について自己の視点での明確で詳細な文章を作る事が出来る。

#### C1 上級

広範囲に渡る高度で複雑な長いテキストを理解し、文章内の潜在的な意味をも把握出来る。言葉を探しているという印象を与えず、流暢に、また自然な自己表現が出来る。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟で効果的な言葉遣いが出来る。複雑な話題について明確でしっかりとした構成で、詳細な文章を作る事が出来、その際の文章には構成する字句や接続表現、結合表現の用法を熟知している事が分かる。

#### C2 最上級

読み聞きしたほぼ全てのものを容易に理解する出来る。異なる話し言葉や書面からの情報源を要約する事が出来、首尾一貫した方法で内容を再構築出来る。自然に、とても流暢かつ正確に自己表現が出来、非常に複雑な状況でも細かいニュアンスや違いを表現出来る。